

HTBasic 9 for Windows Rel.9.5

(Release note : Readme.txt)

この資料は、HTBasic for Windows Release Notes Release 9.5のreadme.txtをベースにHTBasic for Windowsの新しい仕様/特長と改善ポイントをご紹介します。

1. CD-ROMの収録内容の変更

9.5の収録フォルダー名は、95winです

名前 ▲	サイズ	種類	更新日時
60DOS		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:24
61win		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:24
74win		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:25
83win		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:25
900Util		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:25
95win		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:25
FLOPPY		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:25
LgcyPlus		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:25
MS Office Interfa...		ファイル フォルダ	2007/05/12 23:25
AUTORUNINF	1 KB	セットアップ情報	2002/03/27 1:00
Backup of Demo...	350 KB	DBD ファイル	2006/04/04 12:04
CDSETUP.EXE	283 KB	アプリケーション	2002/03/27 1:00
COPY.BMP	32 KB	ビットマップ イメージ	2002/03/27 1:00
Demo.dbd	350 KB	DBD ファイル	2007/05/03 4:36
DISK.ID	1 KB	ID ファイル	2002/03/27 1:00
DISKETTE.EXE	504 KB	アプリケーション	2002/03/27 1:00
DS.DLL	11 KB	アプリケーション拡張	2002/03/27 1:00
htbintro.avi	10,515 KB	Video for Windows ...	2002/03/27 1:00
INSTALL.DAT	19 KB	DAT ファイル	2002/03/27 1:00
LICENSE.TXT	6 KB	テキスト文書	2002/03/27 1:00
README.TXT	1 KB	テキスト文書	2002/03/27 1:00
SETUP.ICO	3 KB	アイコン	2002/03/27 1:00

2. 機能拡張 :

- (1) HTBasic はデュアルコア (Core 2 Duo 等)、ハイパースレッド (Pentum4 等) CPU 搭載の PC をサポートするようになりました。以前のバージョンではこれらのマシン上で HTBasic を実行すると、場合によってはクラッシュしたり予期せぬことが起きました。
- (2) Conditional breakpoints は、HTBasic エディタの中の「Edit Conditional Breakpoint」を選択するか、または Line Breakpoints debug window からエディットできるようになりました。

-
- (3) LOOP/END LOOP の実行には、従来 WAIT 命令なしではプロセッサを 100 パーセント使用しましたが、中間に何らかの命令が無くても 100 パーセントは使用しなくなりました。

[.TXT ファイルの GET で、最終行欠損]

- (1) HTBasic の.txt プログラムファイルを読み込むと最終行が喪失していた現象はなくなりました。

[PRINT PROGRAM...]

- (1) CTRL-I を使用してプログラムをラインアップした後で“Print Program”を実行すると HTBasic が閉じてしまうことがあったのは解消しました。

[SERIAL ドライバ]

- (1) 動作中のボーレート変更によるシリアルドライバのクラッシュはなくなりました。従来は、レートによっては HTBasic がクラッシュしました。
- (2) シリアル・ドライバー使用時、drivers windows handles は正しくクリーンアップされ、メモリーリークを処理します。
- (3) シリアル・ドライバーは、正しいエラーメッセージを出すようになりました。

[HPIBS/USBS ドライバ]

- (1) HPIBS/USBS ドライバをローディングする時、Agilents SICL がインストールされていないことをユーザーに知らせるより有用なメッセージが追加されました。従来は“Unable to load driver”というメッセージが表示されました。

[HTBasic Plus]

- (1) Screen builder で File Widget を作成するときにローカル・ドライブおよび LAN ドライブが使えるようになりました。前のバージョンでは Screen builder で作成するとき File Widget をドライブが正しく表示しませんでした。
- (2) clock widget から翌日、event にトリガーがかかるようセットすると正しくトリガーします。従来は event にトリガーはかかりませんでした。

[デバッカー]

- (1) Global breakpoint array elements がプログラムデバッグファイルに保存できるようになりました。従来は保存されず、保存された project を開く時 array を使った Global breakpoint は壊れていました。
- (2) COM ブロックを持つプログラムで、global breakpoints を設定するときに起こっていた HTBasic のクラッシュや異常動作は起きなくなりました。
- (3) conditional /global breakpoints dialogs のテキストボックスは異なる sub が選択されると新しく選択された変数に正しく更新されるようになりました。
- (4) conditional breakpoints での array elements はプログラムのデバッグファイルに正しく保存されるようになりました。前のバージョンでは elements は保存されず、ファイルが再度開かれると breakpoints は破損しました。
- (5) サブプログラムの中で conditional breakpoints を追加することで HTBasic が終了し

てしまうことはなくなりました。

- (6) toggle breakpoint のショートカット CTRL-F11 は debugger code window の breakpoint を正しくトグルするようになりました。

[Numeric Compiler]

- (1) Numeric Compile で拡張子をつけないで.prg ファイルをコンパイルすると、エラー 203 が出ることはなくなりました。

[HTBasic リセット・ユーティリティ]

- (1) HTBasic リセット・ユーティリティは、HTBasic の最新バージョンを含むように、修正されました。

[DLL]

- (1) 旧バージョンでは、負の値を DLL に渡すとある場合には違う値に変わったり、正の値に変られてしまいましたが、新バージョンでは負の値を与えても正しく動作するようになりました。
- (2) ランタイムバージョンで、サンプルプログラム HTBIntegerSum DLL を実行するときサブプログラムの中で conditional breakpoints を追加することで HTBasic が終了してしまうことはなくなりました。

以上